

## 武蔵町 穴見 龍一

まず、両親に感謝の意を述べたいと思います。私は、父と母のおかげで二十歳という人生の区切りの年を迎えることができ、とても感謝しています。また、現在は四年制大学に行かせてもらっており、経済的援助を受けながら毎日充実した日々を送らせてもらっています。

私は現在、四年制大学に行っているのですが、そこで建築を勉強しています。姉歯元一級建築士による、マンション耐震偽装の問題は建築業界に衝撃を与え、その後も次々と問題が発生しました。これは、地震が発生したときに、人間の生命を守らなければいけない建物が崩壊して、生命を奪う危険性があるということと、決してあってはなりません。ところで、なぜ私が建築の勉強をしようと思ったのか、それは、祖父と父の影響が強いと思います。小さい頃から、建築の現場で手伝いをしたり、見学をする機会がたびたびあり、実際に手で触れて建物の規模を知り、建物が出来上がっていく過程を目にしたことは貴重な体験でもあり、私も将来は祖父と父の仕事を継いで、人が毎日過ごす空間（住居）を自分の手で建ててみたいと思ったからです。私は、大学に入学するため家を出発する前日に父にこう言われました。「自己責任を持って、日々暮らしなさい。」と。それは何かと考えたとき、答えは入学してかたすぐに出来ました。一人暮らしというのは、経済的援助以外はすべて自分の行動が重要な意味を持ち、そこに自己責任が付いてくると、生活しながら感じまし

た。これは、社会に出ても同じことが言えると思います。

最後に、現在建築業界は非常に厳しい立場に立たされていると思います。地方も都市も例外はないと思います。私も建築を勉強し、この荒波に呑まれない努力をしていきたいと思っています。

## 国東町 岩本 実那子

高校を卒業してから一年半が過ぎました。私は、12月に二十歳になります。子どもの頃に思い描いていた「ハタチ」というのは、すごく一人前で大人なんだと思っていました。実際に自分が二十歳を迎えるとなると、私はまだ全然二十歳になる資格がないくらい、色んなことに甘えていると思います。ですが、もう子どもではありません。お

酒もタバコも楽しめるようになり、何もかも自由になりますが、すべて自己責任で行動しなくてはなりません。常に物事を良く考え、行動する事が大事だと思います。私は、高校を卒業してから保育士をめ



▲意見発表後、花束が贈られました。(写真左から足立さん、穴見さん、岩本さん、上杉さん)

ざし、熊本の専門学校へ進学しました。しかし、自分勝手な理由で3ヶ月で学校を辞め、家族に多大な迷惑をかけてしまいました。本当に申し訳ないと思っています。それから、自分はこれからどうしたらいいのか考え、「人と関わる仕事がしたい」という夢を追

い、大学へ行くことを決心し、保育士を含め社会福祉関係の資格が取れる夜間の大学を受験しました。今は昼働きのながら夜学校へ行っています。同級生は皆年下ばかりで、最初は戸惑いもありましたが、今は大学生活を楽しみながら、勉学に励んでいます。無駄に過ごした一年間を取り戻せるよう、これから頑張りたいと思います。

私は、高校のときから自分に甘え、周囲に甘え、自分勝手な行動ばかりしてきました。しかし、それでも私を見離さずらに支え、味方になってくれた家族に心から感謝しています。また、今までに出会えた友達に、辛いとき、悲しいとき、いろんなどとき常にそばにいて、私を支えてくれました。たくさんさんの友達に出会え、私は本当に幸せです。

最後になりましたが、これからも家族や友達を大事にし、大人になることを少しずつ自覚しながら、残り3年の学生生活を後悔しないように過ごし、夢に向かいまた立派な社会人になれるように、一生懸命励んでいこうと思います。

## 国見町 上杉 瞬

本日、このように盛大に成人式を迎えられたことは、ひとえに家族、友人、恩師、地域の方々の支えがあったからだと思います。心から感謝しています。これから社会人としての第一歩が始まるのだと思うと、不安と感激が胸がいっぱいです。

現在、私は豊後高田市にあるTR I 大分A Eで働いています。今年で入社2年目になり、仕事もだいぶ慣れてきました。入社当初は分からないことだらけで、仕事も思うようにはいかず、不安や苦しい思いばかりでした。工場というだけあって、自分の一つのミスが全体のミスに繋がりと、迷惑をかける事も多々ありました。くじけそうにもなりましたが、今日この日を無事に迎えられたのは、会社で出会ったたくさんさんの友人、先輩、上司、そして家族の暖かい励ましがあったからこそ、今までくじけずに頑張ってきたのだと思います。

今は実家から仕事に通い、家族の世話になっていますが、いずれは独立して自分の力で生活し、今まで世話になった分を恩返ししたいと思っています。今日の成人式を機に、成人としての自覚を持ち、今後も仕事に励み、これから一日一日頑張っていこうと思います。